

事 務 連 絡
令和6年4月2日

民生委員・児童委員 各位

宮崎市長 清山 知憲
(公 印 省 略)

避難行動要支援者への文書送付について（お知らせ）

皆様におかれましては、日頃より、地域福祉の推進にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

本市におきましては、災害時に自力で避難することが困難な方の避難行動を支援するため、避難行動要支援者名簿を作成し、民生委員・児童委員や自治会などの地域の方々のご協力により「地域における避難行動要支援者の避難支援体制構築」に取り組んでおります。

今回、この避難行動要支援者名簿に登載されている方に対して、下記のとおり文書を送付しましたので、お知らせいたします。

この通知を受け取った方からの問い合わせ等で不明な点があった場合は、福祉総務課までご連絡ください。

記

- 1 通知対象者
令和6年1月において新たに名簿登載の要件に該当された方（2,100人）
- 2 発送時期
令和6年3月28日（木）
- 3 発送文書
別紙のとおり

問い合わせ先

宮崎市 福祉総務課 福祉防災係
電話 : 0985-21-1754



宮 福 第 4 8 6 号
令 和 6 年 3 月 2 5 日

避難行動要支援者名簿登載者 様

宮崎市長 清山 知憲
(公 印 省 略)

避難行動要支援者名簿の登載について (お知らせ)

本市では、災害対策基本法及び宮崎市地域防災計画に基づき、平成27年度から災害発生時に避難の支援が必要となる方を対象とした避難行動要支援者名簿を作成しています。

つきましては、あなたが下記の要件に該当するため、避難行動要支援者として名簿に登載されましたことをお知らせいたします。

この名簿は、災害時に地域で避難支援等を行う方々へ提供され、名簿に登載された方への情報伝達や安否確認、避難支援のために活用されます。また、名簿を地域に情報提供することに同意された方の情報は、災害時に備えるため、日頃から地域の関係団体等へ提供いたします。

なお、地域への提供を希望されない場合は、令和6年4月18日(木)までに「避難行動要支援者名簿情報提供拒否申出書」を提出いただきますようお願いいたします。

※転出や死亡の方は、手続きは不要です。

※施設入所等により生活の基盤が自宅でない場合は、記入例(裏面)に沿って拒否申出書の一番下の欄外に記入してください。

<参考>避難行動要支援者名簿の登載要件

～生活の基盤が自宅にある方で～

- ① 65歳以上のみの世帯で要介護1・2の方
- ② 要介護3以上の方
- ③ 身体障がい者手帳を所持する視覚、聴覚、肢体不自由、呼吸器機能障がいの級別1・2級の方
- ④ 療育手帳Aを所持の方
- ⑤ 精神障がい者保健福祉手帳1級を所持の方
- ⑥ 本市が医療的ケアが必要と認めた方
- ⑦ 特定医療費(指定難病)支給認定者及び特定疾患医療受給者のうち、「人の助けがあれば歩くことができる」「車いすなら移動できる」「ねたきり」「人工呼吸器装着者」のいずれかの方
- ⑧ 生活・学習アシスタントが配置されている児童生徒

問い合わせ先

宮崎市 福祉総務課 福祉防災係

電話 : 0985-21-1754

FAX : 0985-20-3215

新規登載者向け

地域への情報提供を拒否する場合のみ記入し、返信してください。

記入例

様式第1号（第2条関係）

避難行動要支援者名簿情報提供拒否申出書

宮崎市長 殿

私は、宮崎市避難行動要支援者名簿に関する条例第2条第1項の避難行動要支援者名簿に記載されていることを確認しましたが、避難支援等関係者に対し平常時に名簿情報を提供されることを拒否するので、同条例第3条第2項の規定により申し出ます。

申出日 ○○年 ○○月 ○○日

1 申出者（本人）

フリガナ	ミヤザキ タロウ		
氏名	宮崎 太郎		
生年月日	□□ ○○年 ○○月 ○○日		
住所	宮崎市 橘通西○○丁目○○番○○号		
	建物名・部屋番号等	橘アパート○○○号	
連絡先	電話	0985 - ○○ - ○○○○	
	携帯電話	○○○ - ○○○○ - ○○○○	

2 代理人（代理人が提出する場合のみ記載）

フリガナ	ミヤザキ ハナコ		
氏名	宮崎 花子	本人との関係	長女
住所	宮崎市 橘通東○○丁目○○番○○号		
連絡先	電話・携帯 ○○○ - ○○○○ - ○○○○		

申出者本人が記入できず、代理記入された場合は、この欄もご記入ください。

(例) ○○施設に入所しています
(例) 長期入院中です

よろしければ、拒否の理由等(施設入所・長期入院等)を欄外にご記入ください。

地域における避難行動要支援者の避難支援体制構築について

宮崎市では、災害時の避難等に支援が必要である人の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成しています。

避難行動要支援者名簿は、平常時から避難支援等関係者が避難行動要支援者の状況を事前知っておくことで、普段の見守りや災害時の支援をするための準備につなげることを目的としています。

災害の規模によっては、消防や警察など公的機関だけでは十分な支援ができないことがあります。そのような時のために、地域で何ができるのか、何をしておくべきなのかを考える必要があります。

ただし、避難行動要支援者名簿に登載された方に対して、必ず支援が受けられることを保証するものではなく、関係機関や避難支援等関係者が法的な責任や義務を負うものではありません。

災害時の被害を最小限に抑えるためには、自分の安全を守るために何が必要かを平常時に考えておくとともに、地域とのつながりが重要となります。



避難行動要支援者の対象になる人（一例です）

災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難のため特に支援を要する方々のことで、生活の基盤が自宅にある方です。

例えば、65歳以上のみの世帯で要介護1・2の認定を受けている方、要介護3以上の認定を受けている方、身体障がい者手帳をお持ちで視覚・聴覚・肢体不自由・呼吸器機能障がいの級別1・2級の方、精神障がい者保健福祉手帳1級をお持ちの方 など

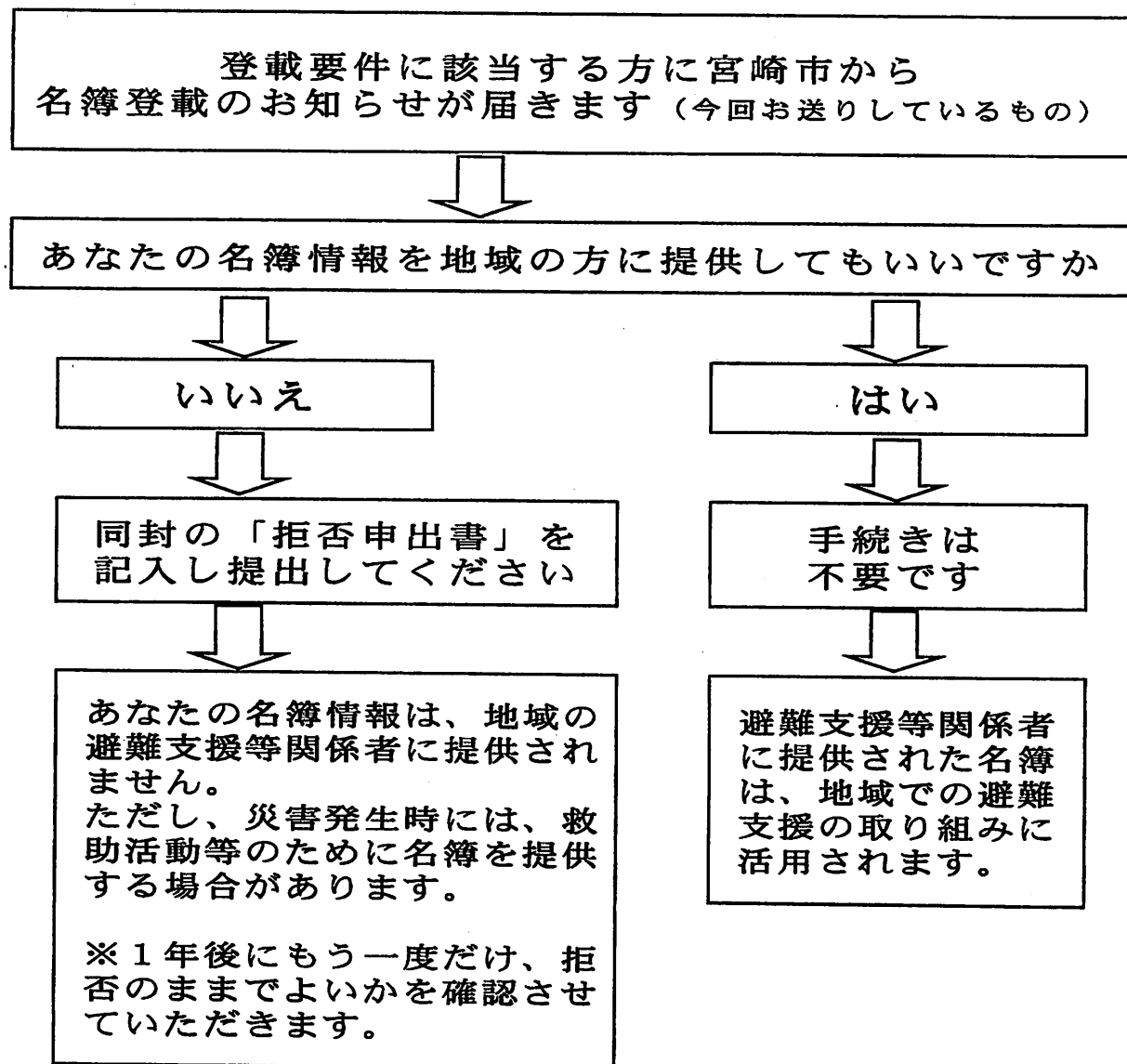
避難支援等関係者（地域の支援体制づくりに協力してくださる方）とは

お住まいの地域によって異なりますが、おもに次のような方々です。また、避難支援等関係者の取り組みも地域によって異なります。

- 1) 自治会
- 2) 地区社会福祉協議会
- 3) 民生委員・児童委員
- 4) 福祉協力員
- 5) 自主防災組織
- 6) 宮崎市消防団
- 7) 宮崎市社会福祉協議会
- 8) 地域包括支援センター
- 9) 宮崎北警察署・宮崎南警察署・高岡警察署
- 10) その他避難支援等の実施に携わる関係者

（裏面→名簿登載の流れについて）

避難行動要支援者名簿登載の流れについて



災害に備えて準備しておくこと

災害時の「いざというとき」には適切な行動がとれないことがあり、様々な危険が伴います。自分だけは大丈夫と過信することなく、災害時に少しでも安全が確保できるように、日頃から備えましょう。

- 洪水や津波のハザードマップで自分が住んでいるところに、どのような災害の危険があるかを確認しておきましょう。
- 個別避難計画を作成し「どこに避難するか」「何を持っていくのか」「どうやって避難するか（誰に手伝ってもらうのか）」などを考えておきましょう。
- 特に災害直後においては、隣近所をはじめとした地域の助け合いが被害を最小限に抑える力となります。日頃から隣近所の方とのつながりを持っておきましょう。